

第5号議案 2015年度事業計画（案）承認の件

一般社団法人として3期目になる2015年度は、2014年度から引き続き業界全体が大きく変化していく年度となります。そのような中、JAIPAも新たな活動を行う事が求められます。ビジネス環境の変化に伴い、昨年度退会された会員企業が12社あり、JAIPA全体の会員数は154社となりました。ピーク時200社以上の会員を有していたので、その3分の2の会員数となったことにあります。

会員数が一般社団法人の唯一の評価基準ということではありませんが、減少傾向は憂慮すべき事柄ではあります。ですからJAIPAは今まで以上にインターネットに係わる企業の方々に対して認知度を向上させ、その必要性を理解してもらう必要があります。またJAIPA会員に対しても、会員としてのメリットを最大限感じてもらうなければなりません。このような現状を鑑み、2015年度は下記のような協会の事業を推進していきたいと考えています。

●2014年度に引き続き、地方で開催するイベントを積極的に広報し協会員及び一般の参加者を増やしていくこと。

金沢、そして奄美大島でのイベント開催が予想以上の集客で賑わいましたが、やはり集客力のあるイベントを継続的に開催することが協会の存在を知っていただくには必要です。

●クラウドカンファレンスをより一層充実させ、JAIPAの存在と会員となるメリットを広く訴求する。新たな事業ドメインに関するイベントをいち早く企画し実施することで、協会の感度とセンスとイメージをアピールすることが出来ます。旧態然とした団体では無く、常に時代の先を見据えている団体である事を知ってもらえるよう、このような活動を増やしていくことが大切です。

●クラウド部会及び地域ISP部会が合同でイベントを開催し成果を収めているのを参考とし、行政法律部会、インターネットユーザー部会、女性部会等もコラボレーションイベントを計画し実現に向けて動き出す。個別の部会での活動は当然活発に行って行くことが大切です。そしてそれをベースに新たなテーマを考え、部会横断で協会のプレゼンスをアピールする動きも2015年度考え、実施していくことが必要です。

●現在安全安心マークの認証制度を事業として運営していますが、それ以外の新たな事業を考える必要があります。一昨年度まで行政からの委託調査で得ていた事業収入が、昨年度はありませんでした。今後も行政からの委託調査という不確定な事業収入を想定するよりも、JAIPA自体が主体となる事業の立ち上げを検討していきたい。

協会の収入は会費収入がその大半を占めます。しかし2014年度の実績を振り返ると、会費収入に大きく依存することの是非を今後検討する必要があります。一般社団法人となり、明確な監督省庁が無くなった今、中長期的に事業収入を積極的に増やしていく施策が必要となってきました。

協会の運営を支える会員の獲得をより積極的に行う事と、事業収入をいかに増やしていくか、2015年度はこの2つが大きなテーマです。

部会活動計画

1. 行政法律部会

部会長	木村 孝	ニフティ株式会社
副部会長	野口 尚志	EditNet 株式会社
副部会長	吉井 一雄	NTT コミュニケーションズ株式会社

当部会では、ISP やクラウド事業者を中心としたプロバイダ全般に係わる法律上及び行政上の諸問題に対して、行政庁との連携や協会会員への情報提供などを活動の中心として参ります。

事業者団体が中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、本部会の主要メンバーが参加していることから、昨年に引き続きそこでの活動を部会の皆様方にお知らせ、意見交換を行い、勉強会などを開催して行政等に意見をまとめて発信したいと考えております。当部会が取り組みたい案件は山積みになっております。ぜひ皆様にもご参加いただき、ご意見やご提案をいただきたくご協力をお願いいたします。

今年は特に、総務省の「電気通信事業におけるサイバー攻撃への適正な対処の在り方に関する研究会」が再開され、各種サイバー攻撃に対する ISP の対処について整理がされると予想されることから、これを踏まえ「電気通信事業者における大量通信等への対処と通信の秘密に関するガイドライン」の改正を行うべく、「インターネットの安定的な運用に関する協議会」を開催し、改正ガイドラインの説明会の開催などを検討しています。

今後の活動予定

■ 法律勉強会・意見交換会の開催

- ・総務省 ICT サービス安心・安全研究会 個人情報・利用者情報等の取扱いに関する WG において、通信ログの保存について検討され、電気通信事業法における個人情報保護に関するガイドラインが改定される見込みであることから、これを受けた勉強会を開催することを検討しています。

■ 「インターネット上の法律勉強会」の開催

- ・各種イベント時に 1 年間の活動や問題点等を講演やパネルディスカッションを通じて、情報提供や議論を行うと共に JAIPA の活動を広く認知させる。

■ 各会議への参加

- ・電気通信サービス向上推進協議会、違法情報等対応連絡会、ホットライン運用ガイドライン検討協議会などに引き続き参加していく予定です。

2. 地域 ISP 部会

部会長	晋山 孝善	ジェットインターネット株式会社
副部会長	鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社
副部会長	高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト

当部会は、地域で ISP を行っている事業者を中心として活動しています。当協会会議室で行っている月 1 回の部会では、遠方からも毎月多数参加していただき意見交換を含めた情報共有をしております。また、この部会に参加できないところでも積極的に参加できるように毎年 3 回程度「ISP の集い」を予定し、毎月の会議で課題にあがったものを検討し、ディスカッションをして解決策を模索して行きます。違法・有害情報関係、消費者問題対応（クーリングオフ等）、ISP にとって、今後どのような展開になるのか、重要な案件が多々あります。NTT 東西が行うサービス卸の関係、今後も事業者に対する要求は増え、負担が増すことになりそうです。JAIPA が参加している会議等の新しい情報を毎月の部会で説明、様々な方面で意見交換をして検討をしたいと考えております。集いを含めて部会への参加をお待ちしております。

今後の活動予定

■ ISP の集い

- ・毎年行われている「ISP の集い」を行い、普段なかなか参加できない方々との情報交換と地域の問題などを検討する場所を提供し、かつ JAIPA の活動を知っていただき、新規会員の獲得にも努めてまいります。
- ・次回開催場所は 9 月 10 日（木）～10 日（金）熊本県天草市です。それ以降は、神戸、山形を検討中。

■ 各種勉強会

- ・毎月、メンバーが講師を担当する「ミニ勉強会」の開催
- ・違法有害情報関係の対応、各種重要案件の説明会、意見交換会の開催

■ 「技術交流分科会」と地域 ISP 部会との意見交換会

3. クラウド部会

部会長	青山 満	GMO クラウド株式会社
副部会長	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社
副部会長	家本 賢太郎	株式会社クララオンライン
副部会長	宮内 正久	ソネット株式会社

インターネットの日常社会への浸透が進み、利用者数の増加だけでなく、その利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。このような状況下において、ホスティング事業も急速な発展を続けており、サービスに対する要求もますます大きくなっています。

2014 年度は残念ながら開催出来なかったですが、「Cloud Conference」を今年度も開催したいと思っております。今年度で 3 回目となります。各社の若手が企画から調整、進行まで様々な対応をして作り上げていくカンファレンスです。前回の反省点を踏まえ、内容のさらなるバージョンアップ、集客も含め前年以上のカンファレンスを企画しております。ホスティング事業者全体が考え、取り組んでいかなければならない課題や問題点を洗い出し、業界全体の更なる発展を目指したいと思っております。

加えて、会員全体を対象とした勉強会を開催し、セキュリティの確保やサービスの安定的な提供、新しいサービスへの取り組みなどについて、ホスティングサービスの最新の情報を共有し、お互いのレベルアップと交流の促進を図っていきます。

ホスティング事業は、インターネットを提供する事業者（インターネットプロバイダー）の中でも、経済的にも顧客数的も大きな割合を占め、さらなる発展が見込まれる事業者でありながら、社会的な面での認知度はまだまだ小さいものであると言わざるを得ません。また、官公庁の間での認識も低く、JAIPA がホスティング事業についての活動を行っているということも知られていません。いまだ遅れている法整備や税制などにも事業者としての意見を出すためにも、早期に解消すべき問題と考えています。

また、一般の利用者への啓発活動にあたっては、省庁とも意見交換をしながら、引き続き行っていきます。様々なことに取り組んでいき、JAIPA 会員の方々が参加しやすいように、話題提供などもしていきます。ぜひ皆様、ご参加下さい。

今後の活動予定

- ホスティング事業全般の現状分析、調査活動を行い、その状況を説明し、同時に利用者
のリテラシー向上のための提言書をまとめる。
- ホスティング事業者向け勉強会の開催
- 他団体との意見交換実施、JPCERT/CC との意見交換会の充実
- 地域 ISP 部会との共催イベント、他部会との連携
- 「Cloud Conference 2015」開催（5月27日@コクヨホールにて開催）

4. インターネットユーザー部会

部会長	郷田 英明	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	川上 久直	株式会社 NTT ぷらら
副部会長	上野 敬之	ソネット株式会社

インターネット利用環境は、ブロードバンドに代表されるパソコンを使つてのインターネット利用に加え、スマートフォン、タブレット等のモバイル端末の加速度的な普及にともないモバイルによるインターネット利用が急速に拡大している状況です。また、インターネットへの接続形態については、NTT 東西等のアクセス回線事業者が提供する光回線や移動体事業者や MVNO 事業者が提供する 3G、LTE 等のモバイル回線、WiFi など、利用者がインターネットを利用する接続形態/契約形態も多様化が進んでおります。更には、2015 年は NTT 東西の「光コラボレーション」が開始され、NTT 東西の光卸を受けた各事業者が、光回線と自社のサービスと組み合わせることで、新たな付加価値が生まれることも期待されます。この様に、利用者にとっては多種多様なサービスの選択肢が増えることで、より便利にインターネットの利用が可能となる一方で、インターネットを利用する際に、利用者がトラブルに巻き込まれるケースが増加するのではないかと懸念があります。

その上で、当部会では、利用者のリテラシー向上に向けた啓発活動に加えて、ISP 事業者として、消費者保護に向けた取組が非常に重要であると考えております。

当部会の今年度の取り組みとして、昨年に引き続き、業界全体の消費者保護の強化の動きに呼応して、総務省や業界団体の議論内容の積極的な情報収集や部会内への展開。電気通信 4 団体が行っている「電気通信サービス向上推進協議会」の WG への参加等を実施して参ります。また、今年度は、初期解除ルール(クーリングオフ)を含む、電気通信事業法改正に向けた準備がより詳細に具体的に進んで参りますので、利用者と事業者が Win=Win になれるよう注視が必要になります。また、消費生活センターや国民生活センターとの連携強化にも取り組んで参ります。昨年実施した「プロバイダの遠隔操作による勧誘事例」等の勉強会など具体的なトラブル事例を題材にした勉強会の開催や消費者から寄せられる苦情・相談事例の吸い上げと部会内での共有・対策に向けた議論を進めて参ります。最後に、他部会との交流や会員相互の情報交換の場をもっと設けられるようにして参ります。インターネットのさらなる発展のため、このような活動にご興味のある方、同じ問題意識を持たれている方のご参加をお待ちしております。

今後の活動予定

- 利用者（消費者）対応に関する活動
 - ・ 消費者保護強化の動きに対応して、消費生活センター・関連団体と連携強化。
 - ・ 消費生活センター他関連団体と事業者団体が共同で消費者サポートを行う体制構築。
- インターネット利用促進

インターネットの利用動向調査レポート等を参考に、インターネットの利用促進を目的とした意見交換や情報収集を行い、より多くのユーザーへの利用拡大に必要な条件を抽出して対応策を検討。また、利用者がインターネットの便利さ楽しさなどを体験できるとともにインターネットを活用する上でトラブルに巻き込まれないよう利用者のリテラシーを向上させる啓発活動。
- インターネットのさらなる発展のため部会員および協会員が興味のあるもしくは、現在注目されている技術やサービスに関する勉強会を適宜開催し、多様なサービスや新たなビジネスモデルの開拓・展開に寄与していく。他部会との交流や情報交換。

5. 女性部会

部会長	大川 裕子	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	土生 香奈子	ビッグロープ株式会社
副部会長	橋本 ゆり	ソネット株式会社

女性部会では、定期的な勉強会や見学会の実施を通して、他社交流や異業種交流を行っています。この部会設立当初の基本方針を念頭に、今年度活動方針を考えました。いつの日かこれも出来ている、あれも出来た、というような体制になれば良いと思っております。出来ることはすぐに取り組み、出来ないことはじっくりと取り組み出来るように努力する。会員相互の意見交換や情報交換は最も大事な事です。また他事業者との交流も積極的に行い、スキルアップも目指したいと思っております。今後も、「人と人とのつながり」を大切にしながら、女性部会として「やらなければいけないこと」、「私達だからこそ出来る事」をメンバー同士で十分に討議し、活動につなげたいと思っております。

また、今年度も引き続き【みんなで作る女性部会】というテーマで、女性部会を盛り上げる1年にしていきます。直近では「沖縄 ICT フォーラム 2015in 石垣島」で女性部会ならではのパネルディスカッションも予定しております。「女性部会」という名前が参加しづらい面もあるかと思いますが、男性の方々からの意見も大いにお聞きしたいと思っております。ぜひ皆様ご参加ください。

今後の活動予定

- 各種勉強会・見学会の企画と実施運営
- 他の部会との交流。女性部会として他部会への積極的な協力
- 部員が持ちまわりで、自社の企業・業務紹介も兼ねたミニ勉強会を開催
- インターネットに関わる、社会貢献活動

- 女性部会を自己研鑽の場とし、働く女性を元気にし、ひいてはIT業界の活性化を図る
(会社の中だけにとらわれることなく、様々な働き方や考え・価値観を知り、自分の今後のキャリアを改めて考えるきっかけを作る)
- 年度を通しテーマに沿った勉強会や講演を実施し、最終的なアウトプットを出す。
(一年間に取り組むテーマを決め、そちらに沿った内容で講演会や勉強会を組み込み、年間を通した取組結果をアウトプットとして報告する。)
※テーマに沿わなくてもイベントとして実施するのはOK
- 他の協会と連携して意見交換をすることで、女性部会をよりよく運営するヒントを得る。
(今後より良い女性部会にしていく為に、JNSAを始め他の協会との意見交換会や、イベントに参加することでお互いのノウハウを共有していく。)

6. モバイル部会

部会長	北村 和広	NTT コミュニケーションズ株式会社
副部会長	安力川 幸司	BBIX 株式会社

昨今のモバイル領域は、世界的にビジネスおよび技術の両面が急速に進展している成長市場です。しかしながら国内の MNO 以外の事業者が活発な事業展開を行うための環境はいまだに十分であるとは言えません。また、市場が拡大し、プレイヤーが増加することで生じる様々な課題もみえてきました。当部会では現在もしくは将来におけるモバイルビジネスに必要な情報交換や議論を行い、他部会と連携を図りながら会員の事業支援だけでなくモバイル業界の事業環境の整備等にむけた提言等に積極的に取り組む所存です。そのため引き続き勉強会と議論を主軸として活動していく予定です。

- ・モバイル市場全般に関する情報共有
- ・モバイルの通信技術、端末の技術に関する学習の場の提供
- ・会員（特に地域 ISP）のモバイル事業参入の支援
- ・政策提言等、行政への働きかけによる事業環境の整備
- ・各種モバイル事業者への要望等の検討